

科目名	第1回	年	組	番	氏名	評点
演奏研究II					解説1	

I 和音に関する文章ついて、次の各問いに答えなさい。

以下の和音解説内にヒントが書かれています。よく読み答えを導きだしましょう。

I. キレイな和音を作るためには…〈平均率・純正律講座〉

ピアノでドミソの和音を弾いて、何かしっくりこないような経験をしたことはありませんか？  
 ピアノというのはド～上のドまでを平均的に区切って音階を作っているのだから、ドからドの#、ドの#からレと上がるときに上がる幅はいつも同じになる。(1:1)、このことを平均律といいます。

平均律では、ド～ドの1オクターブをそれぞれの半音階(12個)で割ったものなので、 $1 \div 12 = 0.083333333333 \dots$ と、割り切れない値になってしまっている。だから、和音を弾いたときに微妙ににぎった音に聞こえるのだ。吹奏楽では、平均律だけでなく、純正律というものも使う。純正律とは簡単にいえばピアノでは出すことのできない完全に澄み切ったハーモニーを造るための微妙な調整を施した音律である。管弦楽器にしかできないこの音律も体験していない人には何が何だか分からないとことでしょう。

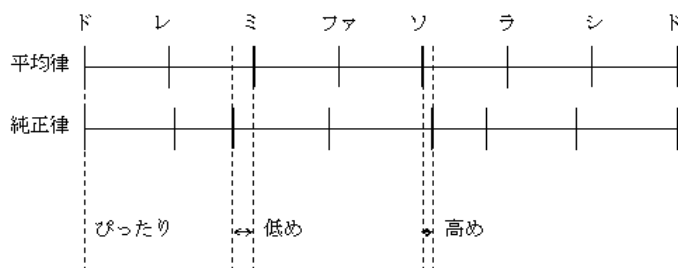
これからは純正律も意識し、綺麗なハーモニーが作り出せるように頑張りましょう。さて、長調の場合、一般的には『第3音は低く』『第5音は高く』というのが原則だが、それはなぜでしょう。

純正律 [セント] 根音	B $\flat$	B	C	C $\sharp$	D	E $\flat$	E	F	F $\sharp$	G	A $\flat$	A
B $\flat$	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7
B	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9
C	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6
C $\sharp$	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7
D	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0
E $\flat$	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8
E	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0
F	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6	-13.7
F $\sharp$	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9	15.6
G	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7	3.9
A $\flat$	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0	11.7
A	11.7	3.9	15.6	-13.7	-2.0	-9.8	2.0	13.7	-15.6	17.9	-11.7	0

上の表はそれぞれの根音に対しての純正律を示したものである。単位は「セント」。  
 「セント」とは半音よりもっと狭い音程を表す単位のことであり、平均律の半音の音程をさらに100等分したものである。1セントの100個分が平均律の半音1個となり、1200個で1オクターブとなる。つまり、オクターブ＝平均律の半音12個＝1200セントとなります。

ここで、いきなりこんな数字が並んだ表なんて出して！と思うかもしれないが、実はこれは自然倍音の原理から純正律を計算したものである。倍音の理論については今回は省略する。

純正律でドミソを吹くときは、上の表に対応させていくと、ドが0、ミが-13.7、ソが2.0なのがわかる。つまりこれは平均律からどれだけずれているかをあらわしている。(平均律はチューニングぴったり)



科目名	年	組	番	氏名	評点
演奏研究Ⅱ	第1回			解説2	

**Ⅱ 楽器の名称や特性について、次の各問いに答えなさい。**

下記の語群は打楽器の名称です。下記の中から正しい名称を選んでみましょう。

[クラッシュシンバル] [ライドシンバル] [サスペンデッド・シンバル] [マリンバ] [ビブラフォン]  
 [シロフォン] [シェーカー] [カウベル] [マラカス] [クラベス] [カスタネット] [ウッドブロック]  
 [チャイム] [スネアドラム] [バスドラム] [タムタム] [ティンパニ] [コンガ] [ボンゴ]  
 [ゴング] [トライアングル] [カバサ] [タンバリン] [ギロ] [ウインドチャイム] [ティンパレス]  
 [ビブラスラップ] [アゴゴ]

**Ⅲ 何調から何調に転調しているか( )に書きなさい。次の曲をへ長調に移調しなさい。**

・調判定

調号を見て最初の調を導き出しましょう。

転調後の調は終止の音がヒントになっています。

・移調

元の調とへ長調とは【長2度差】の関係になっています。【長2度】下げて書いてみましょう。